

## 中央農業高校の生徒が「フードバンクえびな」でお米を配付 ～生活困窮者等へ食の支援～

10月29日（日）、県立中央農業高等学校（中新田4-12-1）の生徒が、市が生活困窮者等へ食の支援を行う「フードバンクえびな」へお米を寄贈し、食品の配付活動に参加しました。

寄贈されたお米は、生徒が中央農業高校で栽培して収穫したものです。

中央農業高校ではこれまで、フードバンク横浜と連携してきた実績があり、8月26日（土）に同校を会場に開催した市の総合教育会議で、生徒から「地元の市とも連携したい」という提案があり実現しました。

受け取られた方からは、「お米は特に助かります」といった声をいただきました。

市では今後も、生徒が生産した農作物の受入れや会場での協力など、中央農業高校とフードバンクで連携していきます。



### 「フードバンクえびな」について

食の支援を通じて、生活困窮者や社会的弱者等を福祉的な支援につなぐ、きっかけづくりを目的として、令和3年7月から実施しています。

- ・実施会場 海老名市立わかば会館（中新田 383-1）
- ・実施日程 毎月1回、原則として最終日曜日の午前中に実施
- ・配付内容 米、レトルト食品、缶詰、菓子、飲料、生理用品など

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市保健福祉部福祉政策課 電話046-235-4820